



福井の名所探訪⑤

北潟湖畔花菖蒲園（あわら市）

福井県の北端部、国道305号沿いに位置する淡水湖。湖畔にある花菖蒲園は、全国でも有数のものです。5月下旬から約1ヶ月間、300種50万株の花が見事に咲き揃います。6月下旬からは花菖蒲まつりがあり、花菖蒲の株即売や湖上めぐりの遊覧船などが催されて大勢の人でにぎわいます。

理 念

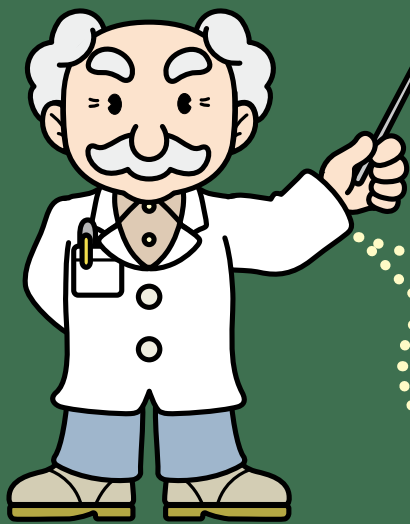
高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 最善の医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤ 十分な説明を受ける権利
- ⑥ 情報開示を求める権利
- ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧ 健康教育を受ける権利
- ⑨ 個人の尊厳を守る権利
- ⑩ 宗教的支援を受ける権利
- ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫ より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬ 通信・面会を自由に行う権利
- ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利



すこやか講座

今回は認知症の人との接し方についてお知らせします。認知症の人にとっては、接し方自体が状態の安定や向上に向けた重要なケアになります。

❖自尊心を傷つけない

間違った行動、理解できない行動をとっても否定しない。奇異な目や突き放した態度をとらない。どんな場面でもゆったりと関わる。

❖視野に入って話す

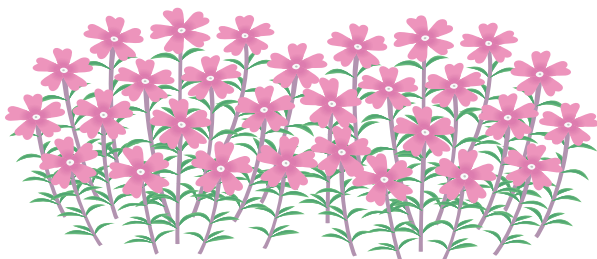
1メートル以内に近づいて話す。後ろから声をかけると振り向きざまに転倒することがあるので注意する。上からのアプローチは避け、低い位置からアプローチする。

❖ゆったり、楽しく

言葉、身のこなし、誘導は『意識的に』スピードをおとす。本人の動くスピードに添う。緊張を解くように、柔らかく楽しい雰囲気です。

❖簡潔に伝える

情報を伝える時は単純な内容で、順を追って1つずつ伝える。先のことを先走って伝えると混乱することがあるので注意する。



❖わかる言葉をつかう

本人に伝わる呼び名、言葉を伝える。生まれ育った土地の言葉を使うと効果がある。本人の心と身体が動く「言葉」「話題」を探す。

❖話をあわせる

現実にはありえそうにない話でも逆らったり、訂正したりしない。混乱が強い場合は話しに入り込まずそっとしておく。

❖昔話を聞く

その人がさかのぼって内面に浮かんでいる時期や、最も輝かしかった頃の視点にあわせる。思い出のきっかけになるものを用意する。(写真、食べ物、絵など) 本人の得意な話、喜ぶエピソードを集めてケアに活かす。

❖現実を強化する

折に触れ、名前、日時、場所などの基本的なことを知らせる。時間と出来事の関係も知らせる(例:「朝ごはんですよ」など) 見やすい日めくり、暦、時計を身近に置く。

家族は今…

人としての尊厳を守るために

H・K

母の介護が必要となったのは今から丁度10年前、父が不慮の事故で亡くなって5年目のことであった。ケアは買物の手伝いとか世間話の相手をする程度で、足腰の衰えを除けばさぶる元気であったらしい。その間、週二回の訪問介護ヘルパーさんの力をお借りしながら、近くに住む弟妹と病弱な妻が母の生活支援をしていた。当時、私は福井不在だったこともあって、母の日常の細かなことは把握していなかった。が、6年前の正月、休暇で帰郷した折、母が明らかに認知症に陥っていることがわかり、長兄である私はその具体的対応のための決断を迫られた。しかし、運の悪いことに新規プロジェクトの契約直後だったこともあって、すぐに帰郷とはいかず、結果、2年の歳月を経て母の介護をすることとなった。ここから、私と母の二人三脚が始まった。

まずは現状確認と考え、お世話頂いている訪問介護ヘルパーさんのアドバイスや、担当医師のご見解を伺いながら、母の日常生活の行動パターンを確認することから始めた。そこから分かったことは、他人に対する異常な警戒心、家を離れることへの極度の拒否反応、日常生活でやらなければならない事柄の「やったつもり」、繰り返される幼年期の話と父の思い出話など、一種の幻覚症状を含む異常を見ることが出来た。また、身体能力的には歩行機能が著しく低下していた。そこで、健康管理面ではバランスのとれた食事と生活パターンの改善を、週一回の往診による健康チェックと投薬励行、生活環境面では火気取り扱いの停止と室内温度の自動化、手すり設置や危険箇所の排除、そして楽しい雰囲気作りに心がけ、それらを実行した。その結果、身体、精神面でかなりの改善が見られた。後は、それまでに複数申し込んでいた24時間介護施設からの受け入れ許可通知を待つのみとなっていた。その間、訪問ヘルパーさんの献身的なご支援の下、すでに2年の歳月が流れていた。

しかし、一昨年の暮れごろから、日々失禁状態が続くようになり、介護ヘルパーさんには、デイリー訪問に加え、緊急訪問介護もお願いした。それから半年が過ぎた頃、一施設から本人面接を経て入所可能との連絡を頂き、急ぎ入所させることにした。が、入所して2日目に「環境対応不適合」との理由で退所を勧告され、暗闇に突き落とされた思いであった。同所医師の紹介状を持って、すこやかシルバー病院に入院をご相談し、お世話になることとなった。

あれから7ヶ月、母の日々穏やかな表情を見るにつけありがたく、同病院各位の愛のこもった心身両面への介護に心から感謝申し上げたい。本当にありがとうございます。



はじめまして!!



臨床心理士

やまぐち ゆ み え
山口 祐美恵

この4月からすこやかシルバー病院で勤務させていただいています、臨床心理士の山口祐美恵と申します。

「臨床心理士」という職業をご存知でしょうか？最近テレビ番組を見ていると、臨床心理士がニュースのコメンテーターをしていたり、またバラエティ番組などでも活躍している姿をよく見かけるようになってきましたので、「臨床心理士」という言葉は知っている人も徐々に増えてきているように感じます。しかし実際どんなことをしているのかということはまだまだ知られていないように思います。

臨床心理士とは、文部科学省認可の財団法人臨床心理士資格認定協会による資格で、臨床心理学に基づいた知識と技術を用い援助をする専門職です。病院以外の場合でも、学校のスクールカウンセラーとして活動していたり、家庭裁判所や児童相談所などの司法・福祉の領域、または企業など産業領域で相談業務をしていたりと、幅広い分野で活動している職業です。

当院では主に神経心理学的検査という検査を行っていく中で、患者さんとかかわらせていただいています。

神経心理学検査とは記憶機能を中心にさまざまな認知機能を調べる検査で、検査の内容は口頭での質問を行ったり、字や図を書いたり、もしくはいろいろな動きをするなど様々な検査項目があります。また検査の種類も1つだけでなく10分ほどで終わる簡単な検査もあれば、1時間以上かかる本格的な検査もあります。

検査と聞くと「きちんと答えなくちゃ…」と緊張したり、どんなことをするのか不安に感じる方も多いと思います。事前に簡単な説明はさせていただいてはいますが、分からないことがあったりしたらお気軽に聞いていただけたらと思っています。

まだまだ若く至らぬこともあるかもしれませんが、患者さんやご家族の療養生活の安寧に寄与できるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

The 病棟



卓球大会

先日、病棟にて卓球大会を開催しました。
患者様にも取り組んで頂き易い様に、今回は風船を使用した卓球を行ないました。
みなさんとてもいきいきとしていて楽しそうでした。



昔、卓球した事があるで
得意なんや！

よいしょ～！
思ったより難しいわ!!



負けん様に頑張らな！





認知症啓発活動



病気の正しい知識とその予防に関する普及・啓発を進めるため、県民対象に活動を行っています。



認知症について興味をもって参加された方が多く、大変嬉しく思います。鳥羽地区の女性の会の皆さんありがとうございました。

2月20日(日)若狭町「鳥羽地区女性の会」の学習会で「あなたの脳は健康ですか？」と題してお話をさせていただきました。

- 前半は「認知症の基礎知識」
- 後半は「認知症の予防」
～生活の中に取り入れたいこと～



すこやかクラブ

認知症の告知を受けた方の脳活性化のための交流会を紹介します。

冬の豪雪が嘘のような春の一日、すこやかクラブのメンバーの皆さんとご家族、相談室スタッフで福井市運動公園にお花見散策に出かけました。

公園内をぐるりと一周。木蓮やソテツの木を教えていただいたり、選挙の話で盛り上がるなど、人生の先輩ならではの話をたくさんお聞きし、スタッフも勉強になりました。



あの白い花は
木蓮だよ

ソテツは寒さに
強いのかなあ



昼食は皆さんでおそばに舌鼓。
話が尽きない楽しい時間でした。

ザ・満開!



満開の桜の下でハイ、ポーズ!
美男・美女に花もかすみませう。

すこやかクラブは、これからもいろいろな活動を通してメンバーの皆さんの「心も体も元気」な毎日を目指します。



New Power & New Life

あおい商事株式会社

代表取締役 山本 一雄

本社／〒910-8501 福井市二の宮4丁目44番1号

TEL0776-22-8100 FAX0776-27-8338

URL <http://www.aoiaoi.co.jp/>



真心のこもった料理をより多くの皆様へ

イフスコヘルスケア株式会社

—— 医療、福祉施設等給食業務受託 ——

福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階

TEL(0776)97-8156 FAX(0776)97-8157

本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル26階

TEL(06)6458-3929 FAX(06)6458-3937

ホームページ <http://www.ifSCO-hc.co.jp>



ビル総合管理・セキュリティシステム・人材派遣

株式会社ナイガイ

代表取締役 下中 道雄

福井市光陽3丁目3-7 TEL0776-27-1171

医用機器販売・メンテナンス・開業コンサルティング



丸文通商株式会社

〒910-0828 福井県福井市林町62号3番地

TEL 0776-52-8081 FAX 0776-52-0541

URL <http://www.marubun-tsusyo.co.jp>



平成23年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と介護のポイント ※同じ内容の研修を2回開催	6月14日(火)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)	● 認知症の症状・分類・治療について	各50名
		10月15日(土)	午前10時～午後12時10分(午前9時30分から受付)	● 認知症の人への対応のヒント	
2	高齢者に関する制度と相談窓口 ※同じ内容の研修を2回開催	6月21日(火)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)	● 介護保険制度について	各50名
		10月22日(土)	午前10時～午後12時10分(午前9時30分から受付)	● 困った時の相談窓口	
3	認知症を予防しよう！ ※同じ内容の研修を2回開催	6月28日(火)	午後1時30分～午後3時50分(午後1時から受付)	● 認知症予防の基礎知識と食事	各50名
		10月29日(土)	午前10時～午後12時20分(午前9時30分から受付)	● 心も体も元気にしよう	

外来患者様・ご家族様の研修

※こちらの研修には定員はありません

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容
4	知っておきたい認知症の疾患と介護方法 ※同じ内容の研修を3回開催	7月1日(金)・11月4日(金) 3月2日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	● 認知症の症状・分類・治療についてと在宅でのかかわりのポイントについて解説する
5	知って得する社会保障制度 ※同じ内容の研修を3回開催	7月8日(金)・11月11日(金) 3月9日(金)		● 介護保険をはじめとする高齢者福祉制度についてわかりやすく解説する
6	介護経験者が語る認知症介護 ※同じ内容の研修を3回開催	7月15日(金)・11月18日(金) 3月16日(金)		● 介護の先輩から介護経験を聴く ● 家族会の役割や活動について紹介する
7	認知症専門医に聞いてみよう ※同じ内容の研修を3回開催	7月22日(金)・11月25日(金) 3月23日(金)		● 認知症に関する疑問、悩みなど専門医に質問しアドバイスを受ける

ケア専門職の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
8	高齢者を理解するために ※同じ内容の研修を2回開催	6月3日(金) 11月8日(火)	午前9時30分～午後4時50分 (午前9時から受付)	● 高齢者の心と体の特徴を講義、疑似体験を通して解説する	各50名
9	認知症の理解とケア ※同じ内容の研修を2回開催	6月10日(金) 11月22日(火)	午前10時～午後5時 (午前9時30分から受付)	● 脳の働きや認知症の病態について解説する ● 基本的認知症ケアについて解説する	各50名
10	高齢者に関する制度と家族支援 ※同じ内容の研修を2回開催	6月17日(金) 11月29日(火)	午前9時30分～午前11時40分 (午前9時から受付)	● 介護保険制度や認知症専門外来の活用について解説する	各50名
11	高齢者への食事援助	9月14日(水)	午前10時～午後3時30分 (午前9時30分から受付)	● 高齢者への食事援助や口腔ケアについて解説する	50名
12	高齢者への排泄援助とスキンケア	9月27日(火)	午前10時30分～午後3時30分 (午前10時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケアと認知症者への排泄援助の実践について解説する	50名
13	認知症介護における倫理	8月27日(土)	午前10時～午後4時 (午前9時30分から受付)	● 認知症介護の現場に活かせる臨床倫理について解説する	150名

ケア専門職の方を対象にした実習

No.	実習名	開催日	実習時間	定員
14	病棟実習 ※同じ内容の実習を2回開催	7月13日(水)～14日(木) 2日間	実習1日目:午前9時～午後5時(午前8時30分から受付)	各10名
		10月19日(水)～20日(木) 2日間	実習2日目:午前8時30分～午後3時	
15	デイケア実習 ※同じ内容の実習を2回開催	7月5日(火)～6日(水) 2日間	実習1日目:午前9時～午後5時(午前8時30分から受付)	各5名
		10月11日(火)～12日(水) 2日間	実習2日目:午前8時30分～午後5時	

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

(但し、No.13については会場が県立図書館多目的ホールとなります。)

実習場所／福井県立すこやかシルバー病院 認知症疾患治療病棟／認知症デイケア

＜ 研修に関するお問い合わせ ＞

研修案内は、新聞等への掲載 (No.1～3)、及び各施設宛に通知 (No.4～15) いたします。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

研修に関するお問い合わせは **TEL (0776) 98-2700 介護教育部まで**